

幕別町観光施設事業経営戦略

団 体 名 : 幕別町

事 業 名 : スキー場運営事業

策 定 日 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 2 年度 ~ 令和 11 年度

1. 事業概要

(1) 事業形態

○白銀台スキー場

法適(全部適用・一部適用)非適の区分	非適用	事業開始年度	昭和46年度
事業の種類	索道事業	施設名	白銀台スキー場
職員数	16人		
事業の内容	冬季期間のみスキー場を営業、通年で宿泊ロッジを営業		
民間活用の状況	ア 民間委託	該当なし	
	イ 指定管理者制度	該当なし	
	ウ PPP・PFI	該当なし	

○明野ヶ丘スキー場

法適(全部適用・一部適用)非適の区分	非適用	事業開始年度	平成15年度
事業の種類	索道事業	施設名	明野ヶ丘スキー場
職員数	6人		
事業の内容	冬季期間のみスキー場を営業		
民間活用の状況	ア 民間委託	運営管理業務を委託	
	イ 指定管理者制度	該当なし	
	ウ PPP・PFI	該当なし	

(2) 料金形態

料金の概要・考え方	<p>■幕別町スキー場条例に基づき料金を設定している。</p> <p>○白銀台スキー場</p> <p>(1) リフト使用料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">1回券</th> <th colspan="2">回数券 (13回)</th> <th colspan="2">3時間券</th> <th colspan="2">5時間券</th> <th colspan="2">30日券</th> <th colspan="2">シーズン券</th> </tr> <tr> <th>大人</th> <th>小人 シニア</th> <th>大人</th> <th>小人 シニア</th> <th>大人</th> <th>小人 シニア</th> <th>大人</th> <th>小人 シニア</th> <th>大人</th> <th>小人 シニア</th> <th>大人</th> <th>小人 シニア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金額</td> <td>200円</td> <td>120円</td> <td>2,000円</td> <td>1,200円</td> <td>1,200円</td> <td>700円</td> <td>1,600円</td> <td>900円</td> <td>12,000円</td> <td>7,200円</td> <td>30,000円</td> <td>18,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 小人とは、中学生以下とする。 2 シニアとは、60歳以上とする。</p> <p>(2) 宿泊ロッジ使用料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>使用人数</th> <th>3人</th> <th>4人</th> <th>5人以上</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大人(宿泊1人1夜につき)</td> <td>2,060円</td> <td>1,850円</td> <td>1,640円</td> <td rowspan="2">未就学児童は無料とする。 11月から4月の間は、1泊1人300円の暖房料を加算する。</td> </tr> <tr> <td>小人(宿泊1人1夜につき)</td> <td>1,030円</td> <td>920円</td> <td>820円</td> </tr> <tr> <td>日帰り利用(1棟当たり)</td> <td colspan="3">2,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) コインロッカー使用料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回</td> <td>100円</td> </tr> </tbody> </table>												区分	1回券		回数券 (13回)		3時間券		5時間券		30日券		シーズン券		大人	小人 シニア	金額	200円	120円	2,000円	1,200円	1,200円	700円	1,600円	900円	12,000円	7,200円	30,000円	18,000円	使用人数	3人	4人	5人以上	摘要	大人(宿泊1人1夜につき)	2,060円	1,850円	1,640円	未就学児童は無料とする。 11月から4月の間は、1泊1人300円の暖房料を加算する。	小人(宿泊1人1夜につき)	1,030円	920円	820円	日帰り利用(1棟当たり)	2,000円				単位	金額	1回	100円										
	区分	1回券		回数券 (13回)		3時間券		5時間券		30日券		シーズン券																																																													
		大人	小人 シニア	大人	小人 シニア	大人	小人 シニア	大人	小人 シニア	大人	小人 シニア	大人	小人 シニア																																																												
	金額	200円	120円	2,000円	1,200円	1,200円	700円	1,600円	900円	12,000円	7,200円	30,000円	18,000円																																																												
	使用人数	3人	4人	5人以上	摘要																																																																				
	大人(宿泊1人1夜につき)	2,060円	1,850円	1,640円	未就学児童は無料とする。 11月から4月の間は、1泊1人300円の暖房料を加算する。																																																																				
	小人(宿泊1人1夜につき)	1,030円	920円	820円																																																																					
	日帰り利用(1棟当たり)	2,000円																																																																							
	単位	金額																																																																							
	1回	100円																																																																							
○明野ヶ丘スキー場																																																																									
(1) リフト使用料																																																																									
区分	1回券		回数券 (13回)		4時間券																																																																				
	大人	小人 シニア	大人	小人 シニア	大人	小人 シニア																																																																			
金額	100円	60円	1,000円	600円	1,400円	800円																																																																			
料金改定年月日	なし																																																																								

(3) 現在の経営状況

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年間利用状況 (延べ輸送者数)	201,484 人	48,138 人	73,458 人
経費回収率	32.8%	11.3%	16.5%
他会計補助金比率	96.9%	106.8%	104.6 %

幕別町観光施設事業は、2箇所のスキー場(白銀台スキー場、明野ヶ丘スキー場)の運営を行っており、スポーツ・レクリエーションの普及振興や住民の健康増進を図るとともに、観光の振興に寄与している。

年間利用状況は、近年の降雪不足により営業期間が短い傾向にあり、ほぼ全期間稼働した平成29年度を除いて低く推移している。

経費回収率は、平成29年度においても約3割と低く、他会計補助金比率も9割を超えている状況で、営業費用を使用料等で賄えていない状況にある。

【白銀台スキー場】

幕別町の観光の南の玄関口であること及び農業が基幹産業である本町において貴重な冬期間の雇用の場であること等の観点から、必要性が非常に高い施設である。

今後とも、整備計画を基に、直近の設備や予算執行の状況を見ながら、適宜整備計画の見直しや変更を行い、効率的な設備更新に努めるとともに、夏季期間の有効活用の検討及び近隣宿泊施設や飲食店とのスタンプラリー等連携事業の強化により、集客・売上げ向上に努めるものとする。

【明野ヶ丘スキー場】

近年、降雪不足により営業期間が非常に短期間あるいは営業できない年が続いており、経費回収率は極端に低い。しかし、他市町村を含む近隣住民のスキー練習場として、その役割は大きい。スキー場運営による利益を上げることは難しいことから、経費を抑えた経営に努めるとともに、明野ヶ丘公園の一部として有効活用を検討し、費用対効果の向上に努める。

2. 将来の事業環境

(1) 利用者数の見通し

※利用者数＝延べ輸送者数

利用者数の見通しにあたっては、過去10年実績を参考に以下のとおり見込む。

【白銀台スキー場】

下記の表のとおり、過去実績の平均62日*約1,800人で、111,600人/年と見通している。(白銀台スキー場のみ)

【明野ヶ丘スキー場】

過去10年のうち、営業した年の営業日数平均は60日、年間平均60日*約970人で、約58,000人/年と見通している。

利用者数の過去10年実績

年度	白銀台スキー場			明野ヶ丘スキー場			合計		
	利用者数	営業日数	1日当りの利用者数	利用者数	営業日数	1日当りの利用者数	利用者数	営業日数	1日当りの利用者数
H22	148,315	77	1,926	75,778	70	1,083	224,093	147	3,009
H23	141,106	77	1,833	75,002	76	987	216,108	153	2,819
H24	139,325	77	1,809	78,803	76	1,037	218,128	153	2,846
H25	43,595	27	1,615	0	0	0	43,595	27	1,615
H26	98,007	77	1,273	54,488	50	1,090	152,495	127	2,363
H27	135,924	75	1,812	51,634	56	922	187,558	131	2,734
H28	136,928	79	1,733	62,753	73	860	199,681	152	2,593
H29	156,766	74	2,118	44,718	49	913	201,484	123	3,031
H30	48,138	23	2,093	0	0	0	48,138	23	2,093
R1	56,076	31	1,809	17,382	28	621	73,458	59	2,430
合計	1,104,180	617	-	460,558	478	-	1,564,738	1,095	-
平均	110,418	62	1,802	46,056	48	751	156,474	110	2,553

料金収入の過去5年実績

年度	料金収入	営業日数	1日当りの料金収入
H27	9,336,010	75	124,480
H28	11,077,660	79	140,224
H29	11,641,840	74	157,322
H30	3,664,830	23	159,340
R1	5,215,200	31	168,232
合計	40,935,540	282	-
平均	8,187,108	56	149,920

(2) 料金収入の見通し

料金収入の見通しにあたっては、過去5年実績を参考に以下のとおり見込む。
過去実績の平均56日*約150千円で、8,400千円/年と見通している。

(3) 施設の見通し

【白銀台スキー場】

整備計画の基づき適切に整備を行っていく。

R3 通信設備(通信ケーブル・有線電話装置)更新 11,000千円

R4 線路設備(支柱)塗装 11,000千円

R5 原動緊張設備(油圧シリンダ・ユニット)更新 5,300千円

折返設備(鉄骨ステージ)床張替、補修 3,500千円

【明野ヶ丘スキー場】

現状維持を目的に、状況に応じた施設の修繕及び更新による効率的な管理に努める。

R3 握策装置用スプリングケース交換 814千円

(4) 組織の見通し

職員の配置や給与については、現時点で変更を想定していないため、現行どおりの想定とする。
将来的に、大きな状況等の変更があった場合に、検討するものとする。

3. 経営の基本方針

経営にあたり、安全を最優先したリフト運行に努める。そのため、職員が研修等を通じ、知識や技術の向上を図る機会を確保することが重要と考える。

また、施設の点検等の徹底により、安全を確保する。

施設の整備については、整備計画を基本としつつ、将来においても直近の設備や予算執行の状況を見ながら、適宜整備計画の見直しや変更を行い、効率的な設備更新に努める。

なお、明野ヶ丘スキー場については、気象状況等による営業日数や施設整備に要する費用対効果を勘案しながら、今後のスキー場のあり方についても検討を行うこととする。

4. 投資・財政計画(収支計画)

- (1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり
(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	該当なし。
-----	-------

【白銀台スキー場】
基本的には、町総合計画に基づき、計画的な設備の更新を実施するとともに、日常の維持、点検、修繕等の管理を徹底することにより、長寿命化を図りながら運営する。また、将来においても直近の設備や予算執行の状況を見ながら、適宜町総合計画の見直しや変更を行い、併せて日常管理を徹底することで効率的な設備更新に努める。
また、これらの管理を徹底することで、サービス向上と維持経費の削減につながると考え、ひいては利用者への対応や安心感の向上に寄与すると考える。なお、設備更新時の財源は、過疎債を充当する見込みである。

【明野ヶ丘スキー場】
直近の設備や予算執行の状況を見ながら、安全性を最優先にし、状況に応じた効率的な設備の修繕及び更新に努める。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	誘客促進により料金収益を図る。
-----	-----------------

関係団体及び飲食店等の町内事業者と連携した誘客促進策を行い、利用料の収入増を図る。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

職員の配置や給与については、現時点で変更を想定していないため、現行どおりの想定とする。
建設改良費については、①収支計画のとおり、整備計画に従い、計画的・効率的な設備更新に努める。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	利用者サービスの向上を図るため、必要に応じて指定管理者制度を含め、民間活力の活用について検討する。
投資の適正化	将来にわたり適切な維持管理を徹底し、単年に多大な投資とならないよう、計画的な設備の更新棟を実施し、負担が平準化されるよう留意する。
その他の取組	職員の事故防止に係る教育訓練を徹底し、安全第一の施設維持管理を実現する。

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料 金	町内各施設や近隣類似施設等の状況を把握し、健全な運営を実施できる料金体系を確保する。
稼働率・利用者数	白銀台、明野ヶ丘スキー場共に、近隣市町村の住民が利用者の中心である。また、暖冬・雪不足の気象的影響で、ここ数年は条例施行規則上の12/20から3/15までの稼働実績が非常に少ない状況である。
資産の有効活用等による収入増加の取組	【白銀台スキー場】 冬期間のみの施設のため、夏季の有効活用について検討する。また、近隣宿泊施設や飲食店とのスタンプリール等連携事業を実施しており、双方の集客・売上げ向上に努めるものとする。 【明野ヶ丘スキー場】 明野ヶ丘公園の一部としての有効活用について検討する。
その他の取組	該当なし。

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委 託 料	白銀台スキー場については、民間活力の活用を検討しつつも、現状は町直営のため、該当なし。 明野ヶ丘スキー場については、運営管理業務を引き続き5年契約を継続し効率的な経営に努める。
管 理 運 営 費	一般会計で、スキー場管理費による給与体系である。
職 員 給 与 費	一般会計で、会計年度任用職員報酬による給与体系である。
その他の取組	該当なし。

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	【白銀台スキー場】 冬季屋外スポーツを提供できる本スキー場は、南十勝唯一のスキー場であること、高規格道路のインターがある忠類地域が幕別町の観光の南の玄関口であること、農業が基幹産業である本町において貴重な冬期間の雇用の場であること等の観点から、必要性が非常に高い施設であると考えます。 【明野ヶ丘スキー場】 他市町村を含む近隣住民の冬季屋外スポーツ施設としての役割が大きく、冬期間の雇用の場であること等の観点から、必要性が高い。
公営企業として実施する必要性	屋外スポーツ施設として健康増進に資すること、及びスキーの指導者育成や少年団等の支援の面からも必要であると考えます。

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	経営戦略は10年間計画であるが、投資や財政計画を毎年度把握することで、必要な見直しを実施する。また、民間活力の活用等の検討も視野に入れ、安定的な施設の運営を図るものとする。
---------------------	--

投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円, %)

区 分		年 度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
		(決算)	(決算)	(決算)												
収 益 的 収 入	1	総 収 益 (A)	11,900	3,725	5,310	11,213	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250
	(1)	営 業 収 益 (B)	11,900	3,725	5,310	11,213	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250
		ア 料 金 収 入	11,900	3,725	5,310	11,213	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250	11,250
		イ 受 託 工 事 収 益 (C)														
		ウ そ の 他														
	(2)	営 業 外 収 益														
		ア 他 会 計 繰 入 金														
		イ そ の 他														
	2	総 費 用 (D)	30,617	27,039	25,667	31,529	35,277	35,350	34,424	34,485	34,528	33,558	33,588	33,636	32,681	
	(1)	営 業 費 用	30,268	26,733	25,402	31,310	35,000	35,000	34,000	34,000	34,000	33,000	33,000	33,000	32,000	
		ア 職 員 給 与 費				9,936	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
		ウ ち 退 職 手 当														
		イ そ の 他	30,268	26,733	25,402	21,374	25,000	25,000	24,000	24,000	24,000	23,000	23,000	23,000	22,000	
	(2)	営 業 外 費 用	349	306	265	219	277	350	424	485	528	558	588	636	681	
		ア 支 払 利 息	349	306	265	219	277	350	424	485	528	558	588	636	681	
	ウ ち 一 時 借 入 金 利 息															
	ウ ち 資 本 費 平 準 化 債 分															
	イ そ の 他															
3	収 支 差 引 (A)-(D) (E)	△ 18,717	△ 23,314	△ 20,357	△ 20,316	△ 24,027	△ 24,100	△ 23,174	△ 23,235	△ 23,278	△ 22,308	△ 22,338	△ 22,386	△ 21,431		
資 本 的 収 入	1	資 本 的 収 入 (F)	37,061	54,130	60,215	54,144	49,518	51,737	50,228	48,268	49,435	46,295	50,342	50,684	36,853	
	(1)	地 方 債	1,900	18,900	26,500	11,700	12,100	12,100	9,600	7,700	7,500	7,500	10,700	10,700	3,500	
		ウ ち 資 本 費 平 準 化 債														
	(2)	他 会 計 補 助 金	35,161	35,230	33,715	42,444	37,418	39,637	40,628	40,568	41,935	38,795	39,642	39,984	33,353	
	(3)	他 会 計 借 入 金														
	(4)	固 定 資 産 売 却 代 金														
	(5)	国 (都 道 府 県) 補 助 金														
	(6)	工 事 負 担 金														
	(7)	そ の 他														
	2	資 本 的 支 出 (G)	18,344	30,816	39,858	33,828	25,491	27,637	27,054	25,033	26,157	23,987	28,004	28,298	15,422	
	(1)	建 設 改 良 費	12,692	24,880	33,302	20,695	12,100	12,100	9,680	7,700	7,500	7,500	10,700	10,700	3,500	
		ウ ち 職 員 給 与 費														
	(2)	地 方 債 償 還 金 (H)	5,652	5,936	6,556	13,133	13,391	15,537	17,374	17,333	18,657	16,487	17,304	17,598	11,922	
		ウ ち 資 本 費 平 準 化 債 償 還 金														
	(3)	他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金														
(4)	他 会 計 へ の 繰 出 金															
(5)	そ の 他															
3	収 支 差 引 (F)-(G) (I)	18,717	23,314	20,357	20,316	24,027	24,100	23,174	23,235	23,278	22,308	22,338	22,386	21,431		

